

公表

事業所における自己評価結果

わいわいプラス町田教室 事業所番号 1353200395
実施年月 令和6年12月実地

事業所名		わいわいプラス町田教室					公表日	2025 年 2 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	発達支援室の広さを踏まえ、無理のない適正な定員を維持。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	児童指導員等加配加算を活用し、支援が必要な児童への対応をしている。 特定の曜日に非常勤スタッフを配置。	曜日や利用児童のメンバーによっては、職員数が少なく感じる事もある			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	こどもに分かりやすい環境を整え、障害特性に応じた配慮を実施。	無駄な段差がある為、危険な場合もある。 ドアが重い			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	生活空間の清潔維持のために清掃を実施し、換気や空気清浄機、オゾンを徹底。子どもが安心して過ごせるよう家具配置を工夫し、安全で快適な環境を整備している。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	静養スペースを設け、必要に応じて個別対応が可能な環境を整備している。 子どもの安心感と集中できる空間を確保。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	意見交換の場を設け、全員が改善提案できる環境を整備。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	個別面談を実施し、意見を収集。結果を会議や意見交換の場で共有し、具体的な業務改善に反映する仕組みを整備。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見交換の場などで職員の声を収集。 共有した意見を検討し、具体的な改善策を実施。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	内部評価や利用者の声を反映し、業務の質向上に努める。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	他法人とのグループ研修の受講支援や法人内研修を通じ、職員のスキル向上を促進。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	透明性を確保するため、3月までに支援プログラムを公表予定。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	こどもと保護者の声を反映し、客観的な分析を基に計画を策定。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員間で共通理解を深め、こどもの最善の利益を考慮し計画策定。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間の連携を強化し、計画に基づいた支援を徹底。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化ツールと日々の観察を活用し、適応行動を多角的に評価。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインを踏まえ、必要項目を設定し具体的な支援を計画。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員が連携し、活動プログラムを立案・実施。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	多様な活動を取り入れ、こどもが楽しめる工夫を継続。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別・集団活動を柔軟に調整し、こどもに最適な支援を提供。	集団活動が多く、個別活動は少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	事前打合せで支援内容と役割を確認し、チームで連携対応。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援後の振り返りは随時実施し、職員間で気付きを共有。	終了後には出来ていないが、気付いたことは共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援の記録を徹底し、振り返りを活かして継続的に改善	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを適切に判断。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	基本活動（自立に向けた支援・個別のニーズに応じた支援・集団生活への適応支援・地域との交流・参加を複数取り入れ、こどもに合わせた支援を展開。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	こどもが自己選択できる機会を設け、自己決定の力を育成。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	現在是对应していないが、こどもの状況を把握した職員の参加を検討。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	医療ケア児はいないが、必要時に備え関係機関との連携体制を構築。	現在、医療ケアを必要とする児童がいないです
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校と情報を共有し、下校時刻や送迎対応を適切に調整。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	今後連携を深める取り組みを進める。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	該当児童はいないが、今後の移行支援に向けた情報提供を検討。	現在該当児童がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	現在は実施していないが、必要に応じた助言や研修の機会を検討。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	現在は系列の教室と交流を実施し、さらなる地域交流を模索。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	現在は未参加だが、今後の自立支援協議会への参加を検討。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々のこどもの様子を保護者と共有し、発達状況の共通理解を促進。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	現状は未実施だが、家族向け研修や情報提供の機会を検討中。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧に説明を実施。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	こどもや保護者の意向を尊重し、計画作成時に確認の機会を設定。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	計画を示しながら支援内容を伝え、保護者の同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	家族の悩みに寄り添い、面談や助言を通じて適切に支援を実施。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	保護者のニーズを踏まえ、現時点では保護者会や交流支援は未実施。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応の体制を整備し、こどもや保護者へ周知し迅速に対応。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HP、SNSを活用し、こどもや保護者へ積極的に情報提供。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の管理を徹底し、適切な取り扱いに十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	こどもや保護者に寄り添い、分かりやすい伝え方を工夫して対応。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	現在は実施していないが、地域との交流機会の創出を検討中。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを策定し、周知徹底と発生を想定した訓練を実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画を整備し、災害時に備えた訓練を継続的に実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	こどもの健康状態を把握し、服薬や発作時の対応を事前に確認。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師の指示書は未提出だが、こどもの安全を考慮した対応を実施。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、研修や訓練を通じて適切な安全管理を実施。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づく取組を家族へ周知し、連携してこどもの安全を確保。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事例を職員間で共有し、安全対策を強化しながら再発防止を徹底。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	職員研修の機会を確保し、虐待防止に向けた適切な対応を実施。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	やむを得ない場合の身体拘束について組織で決定し、事前に説明・記載。	